

宮崎県の財政状況  
～年収573万円の家計に例えてみると～

1年間の家計の見通し

収入合計 573万円

給料(県税、使用料等)	166万円
仲間からの分配金 (地方交付税等)	201万円
親からの援助 (国庫支出金など)	80万円
貯金の取崩し(繰入金)	47万円
新たな借金(県債)	79万円

支出合計 573万円

家の増改築や車の購入等 (投資的経費)	110万円
家族や親戚への仕送り (補助費等)	121万円
生活・活動費 (人件費、物件費等)	243万円
ローンの返済(公債費)	95万円
貯金(積立金)	4万円

年度末の通帳の見通し

貯金残高(普通預金) 31万円

ローン残高 1,052万円

※ うち自分で返済するもの  
(臨財債等を除く残高) 599万円

【H23残高 630万円】

※ 国の予算(平成24年度一般会計:90.3兆円)について、年収573万円に換算した場合

- ・ ローン返済額(国債費) 139万円
- ・ ローン残高(公債残高) 4,497万円

## 解説

この資料は、県財政の現状を身近に理解していただくため、24年度当初予算案を年収573万円の家計(県の10万分の1)に例えたものです。

### 収入について

- 給料が166万円と少なく、仲間からの分配金や親からの援助などが頼りです。
- 入ってくるお金だけでは足りず、貯金を47万円取り崩し、新たに79万円借金してやり繰りしています。

### 支出について

- 家の増改築などの財産形成(投資)に回しているお金は、110万円と全体の20%以下です。
- 家族や親戚への仕送りは、医療費を含んでいて、毎年増えています。
- ローンの返済は95万円。全体の17%で家計を圧迫しています。

### 通帳の中身

- 貯金が減っています。わずか31万円しかないので、病気や事故、自然災害など、急な出費があった時が心配です。
- ローン残高は1,052万円ですが、このうち自分で返さなければいけない分は599万円です。去年が630万円でしたので、努力して少しずつ減らしてきています。

### 家計の方針

～これからも、医療費などの家族や親戚への仕送りが増えていきます。  
また、みんなが元気に、豊かになるための投資も必要です。～

- 支出は、今本当に必要なものに集中化し、効果が上がるよう努めます。
- 少しでも給料が増えるよう、工夫していきます。
- 貯金の取崩しに頼らずに、できるだけ、入ってくるお金だけで生活できるようにしていきます。
- 新たな借金はできるだけ抑え、ローン残高を減らしていきます。